



めざす子ども像
思いやりのある子
進んで考え学ぶ子
たくましい子

〒684-0403
海士町福井 394 番地2
TEL08514-2-0750
FAX08514-2-0790
Mail
fukui0750@gmail.com

二学期を振り返って

校長 吉田貴弘

とても暑かった夏を懐かしく感じるほど、寒さが身に染みる冬の到来を感じる季節となりました。八月のキンニヤモニヤ祭をはじめとして、様々な行事に取り組んできた二学期も終業式を迎えます。この五か月間に、学校教育目標「豊かな心を育み 最後までやりぬく 主体的な児童の育成」の具現化を目指して取り組んできた内容をお伝えいたします。

「思いやりのある子」

二学期の始業式に、子どもたちへお願いしたことは、「自分のために、みんなのために頑張っている人を応援する」とでした。

今学期、縦割り班で行った明屋海岸での遠足や、さつま芋作り・焼き芋作り等の活動では、「頑張ったね。」「ありがとう。」「という言葉葉をいろいろな場面でする。」「二年生や三、四年生の安全を配慮しながら「こうした方がいいよ。」と優しく教えていたリーダーの高学年。教えてもらったことを守って、懸命に頑張った一、二年生や三、四年生。そこでは、お互いが素直に「頑張ったね。」「ありがとう。」「という言葉

を交わしていました。

各学年でも、学級終会時に努力していた人や誰かに優しくしていた人を発表する機会を設けて、「頑張ったね。」「ありがとう。」「の気持ちを込めて、毎日、みんなで拍手をしていました。

「誰かのために役に立っている。」「自分の良さを認めてくれている。」「という経験の積み重ねが、自己肯定感の向上や学校が楽しいと感じることに直接つながると考えています。三学期も子どもたちの心がさらに豊かになる活動を行ってきたいと思っています。

「進んで考え学ぶ子」

今学期は、「聞く力」と「話す力」を高めることを重点として取り組んできました。保護者の方々には、参観日の授業でご覧いただいたと思いますが、発表する人の方をしっかりと向いて聞くことを努力していた子どもたちがおわかりいただけだと思います。

低中高学年別に「話す人の顔を見る。」「最後まで聞く。」「自分の意見との相違を考えながら聞く。」「友達の意見を理解し、質問できるように聞く。」「等の具体的な目標を設定し、すべての学年で

指導を繰り返してきました。その成果が少しずつ現れてきていると受け止めています。

今後の課題として、静かに相手の方へ向いて聞くことができる子どもたちは増えてきていますが、聞いた内容について疑問を持ったり、自分の考えと比べて聞いたりする力をさらに高めていかなければならないと感じています。

聞き方のポイントを示す等、支援の工夫を図りながら、すべての学年の「聞く力」と「話す力」のさらなる向上に努めてまいります。

「たくましい子」

今学期は、子どもたちが気持ちの良い挨拶を進んで行うこと、体力を向上させるとともに何事にも根気強く取り組もうとする意欲を高めるための取組を進めてまいりました。

挨拶については、友だち同士や地域の方々に対して気持ちの良い挨拶を行おうと機会を捉えて指導してきました。その結果、地域の様々な会合の折に、「挨拶が良い。」「というお言葉をいただきました。また、毎朝昇降口前で、子どもたちがお互いに「おはよう。」「と笑顔で挨拶を交わす場面を多く見かけました。

体力の向上については、朝マラソンを懸命に取り組み子どもたちが増えてきました。各学年で目標を立てたり、職員が子どもたちと一緒に走って声を掛けたり

しながら、地道に力を高めています。児童会の健康委員会からの呼びかけもあり、現在、朝マラソンの間に歩く子どもは一人もいません。今後、繰り返しの指導を重ねながら、一歩一歩、子どもたちの意欲と力を高めたいと思います。

保護者、地域の皆様には様々な面で今学期もご支援ご協力いただき、ありがとうございます。三学期もよりよい学校づくりにご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。

クリスマス読み聞かせ

一二月一四日木曜日。読み聞かせボランティアのチエルシーさんによる「クリスマス読み聞かせ」が行われました。このイベントは、子どもたちも、そして職員も楽しみにしています。最初に、教員による寸劇をして、会場を温めました。普段とは違う先生の姿に子どもたちも大笑いです。次に、大型スクリーンを使って、二冊の絵本を読んでもらいました。寸劇では大笑いして声を出していた子どもたちですが、お話の世界に引き



込まれ、誰も話をせず、静寂の中、チエルシーさんの声だけが聞こえました。ゆったりとした、絵本の中の世界にいるような時間でした。

最後にチエルシーさんからのハンドベルの演奏がありました。ベルの音色にすうーっと引き込まれ、クリスマスの静かな雰囲気となりました。季節ごとに工夫されたこのイベントが、福井小学校の子どもたちが本をもっと好きになるきっかけになってくれればと思います。(池田)

人権週間の取組

毎年一二月一〇日は、世界人権デーです。国際連合で世界人権宣言が採択されたことを記念して、この日を最終日とする一週間が「人権週間」と定められました。この人権週間に合わせ、福井小学校では「ともだち」をキーワードにして、主に三つの取り組みが行われました。

一つ目は、生活目標です。二月の生活テーマを「ともだち」としました。各クラスで、テーマに対する現状や課題、そこから生活目標と具体的な取り組みを決めて全校朝会で発表しました。

二つ目は、読み聞かせです。毎週木曜日の朝は、読み聞かせのボランティア「チエルシー」さんに来て頂いています。人権週間中の木曜日には、「ともだち」をテーマにして本を選び、読み聞かせをしていただきました。

三つめ目は、アミーゴ・セクレトです。これは、コロンビアで友達同士の絆を深めるために行われているイベントです。アミーゴ・セクレトはスペイン語で、日本語にすると「ひみつのもだち」です。本語を引いて「ひみつのもだち」を決

めて、そのともだちにプレゼントを贈るというものです。今回は、プレゼントではなく、その人の良さを書いて手紙を贈り合いました。初めて行ったイベントでしたが、子どもも職員も全員が参加し、福井小学校全体の絆を深めることができました。(氣賀澤)

美山小交流学習(五・六年)

とあるご縁があり、京都府南丹市にある美山小学校と交流学習を行うことになりました。交流学習の回数は年に三回です。お互い、ふるさと学習で学んだこと、発見したことを発表したり、発表を聞いたりしながら感想を伝え合うことで、知らなかった町のことを知り、さらには我が町の良さを再発見することを目標にしています。交流方法は、ウェブ会議システムを活用し、テレビ画面に映し出された相手に向かって発表したり、聞いたりします。学校、教育委員会、隠岐國学習センターとが協力し合って実現しました。第一回は、顔合わせ、自己紹介をかねて、「町紹介」「学校紹介」「クラス紹介」を簡単に行い、感想や質問を伝え合いました。第二回は、美山小学校の発表を聞きました。聞いて感じたことを伝えられるように、「メモをとって聞く」「海士町や学習した内容と比べながら聞く。」ことを意識しました。山の中にある美山小学校では、畑を荒らす動物、クマやイノシシなどがいること、クマを撃つ子が五人ぐらいいることなど、海士町では考えられないことを知ることができたようです。逆に海士町にはそのような動物はいないこと、学校でヒラメを育てていることなどを伝えると美山小学校の子どもたちは驚いていました。普段当たり前だ

と思っていたことが当たり前ではないことに気づくことができました。今回は福井小学校が発表する番です。どんな発表ができるか楽しみます。(福島)

学級紹介(五・六年)

五・六年生は、五年生が一〇名、六年生が六名の一六名の複式学級です。四月に全員で考えた児童会のスローガンである「チャレンジ学校」となるよう、クラスでも「ベストを尽くす」ことを大切にしてきました。全隠岐陸上大会、バスケットボール大会、修学旅行、島前陸上大会、さつま芋栽培・収穫、音楽会、あとドフェスティバルなど多くの行事を皆で協力しながら乗り越えてきました。複式学級なので、五年生と六年生の二年生が同じ教室にいます。学習中には、六年生が五年生に教えに行く場面があったり、五年生の学習を見て、学習内容の振り返りをしたりと二年生がいることの良さを感じます。また、委員会活動などではその日の計画を立てたり、準備をしたりしている様子を間近で見ることができ、五年生にとっても、来年度のイメージがしやすくなります。のんびりでおおらかな六年生とシャキシャキで行動派の五年生。カラーの違う二年生がお互いを認め合い、高め合うこ



とで調和のとれたクラスとなるよう見守っていきたいです。あつという間に二期期が終わりました。六年生は小学校のまとめをしながら中学生に、五年生は六年生になれるようベストを尽くしていきます。(福島)

ノーメディアデー

海士町の小中学校では、今年度もノーメディアデーに取り組んでいます。毎月一日と一五日をノーメディアデーとしてスマホ・テレビ・ゲームなどの接触時間を意識して減らすという取組です。メディアは、情報や娯楽などをもたらす一方、過度の使用による弊害も指摘されています。メディアの使い過ぎで、睡眠不足・視力の低下・コミュニケーション能力の低下・体力の低下・学力の低下などが懸念されています。特に、メディアの接触時間と学力の関係は、全国学力・学習状況調査の結果でも「テレビゲームをしている時間が短いほど、正答率は高い」と指摘されています。ノーメディアデーは、そういったリスクに対する「予防」の側面もありますが、さらに「生活を豊かにする」というねらいもあります。ノーメディアデーにはその月ごとに、子どもたちが自分で目標を決めてノーメディアデーのカードに書き込みます。去年までは、「メディアを三〇分以内にする」というような、メディアとの接触時間を減らすことだけを意識した目標が多かったように思います。そこで今年度は、「そこから生み出した時間で「何をしたいか?」ということを決めるようにしています。例えば、「メディアを三〇分以内にして、家族と話をする。」という具合です。

子どもたちが書いた目標を見ると、「読書をする」「家族とトランプをする」「早く寝る」「自習をする」など様々です。「実現できなかったらいいなあ」と思う一方で、実際の達成状況はまだまだです。目標を達成するためには、家庭の支援が不可欠です。大人の方が難しいかもしれない「ノーメディアデー」。毎月一日と一五日、子どもと一緒にノーメディアデーに取り組んでみませんか?(氣賀澤)

保く高連携

健康生活チャレンジシートの取組

今年度二回目となる「健康生活チャレンジシート」、子どもたちは自ら目標を設定し、より良い生活習慣を意識して取り組めます。今学期も、ノーメディアデーに合わせて実施しました。

小学校は、朝食摂取率が一〇〇%・メディア以外のほとんどすべての項目が八〇%以上であることから、全体的に健康な生活を意識して取り組んだことが伝わります。課題としては、メディア接触時間が長い児童がいること、ノーメディアデーの目標達成率が他の項目と比べて低いことがあげられます。

中学校は、テスト期間中の実施であったため、就寝・起床時間が遅くなり、勉強・メディアの達成率は一学期に比べ高くなりました。その時の状況に応じて自分で考え、行動する力がついてきていると感じます。しかし、課題は「ノーメディアデー」の達成率が低いことです。とくにメディア②(携帯・ゲーム・PC)の使用時間が課題で、まだまだ一人一人の意識が低いと感じます。三校共通しての課題がやはりメディア

学年	起床時刻	朝食	勉強読書	メディア	はみがき	就寝時刻	ノーメディア
低学年	福井小	86.7	100.0	97.3	84.0	88.0	94.5
	海士小	80.0	100.0	80.0	86.2	90.8	84.6
中学年	福井小	88.1	100.0	84.5	84.5	96.4	83.3
	海士小	96.7	100.0	88.3	90.0	95.0	88.3
高学年	福井小	81.3	100.0	76.3	53.8	85.0	72.5
	海士小	95.6	100.0	93.3	100.0	100.0	93.3
1年	海士中	63.0		88.0	88.0		50.0
2年	海士中	84.0		75.0	88.0		50.0
3年	海士中	88.0		88.0	75.0		38.0

☆小学生・・・「できた」という人の割合(%)
☆中学生・・・自分で設定した目標の達成率(%)
☆太字・・・一学期より数値があがった項目

一月行事予定

- 一日(月)元日
- 八日(月)成人の日
- 九日(火)三学期始業式
- 一〇日(水)生産者交流給食 集団下校
- 一五日(月)ノーメディアデー
- 一七日(水)レスリング体験(三・四年)
- 一八日(木)暗唱ラリー
- 一九日(金)命の参観日・学級懇談会
- 二五日(木)計算大会
- 二九日(月)一年研究授業
- 三〇日(火)イカさばき体験

島前高留学生交流学習



ア：。今後も「メディアとどう向き合い関わっていくか」を考えるため、海士町の子どもたちが健やかにたくましく生きていく力を育くむこの取組を、学期に一度、続けていきたいと考えます。冬休み期間もチャレンジシートの生活を意識して過ごしましょう。今後ともご理解とご協力をお願いします。(文責 保く高養護教諭部会)